

千葉県の供給・献血状況

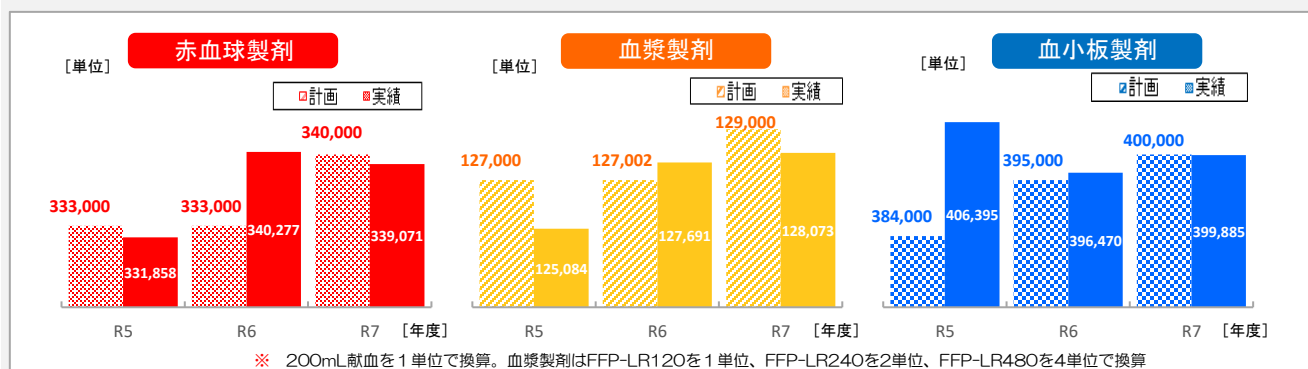
令和7年度の概要

千葉県内の輸血用血液製剤の需要は令和2年度から増加傾向が続いており、令和7年度は延べ867,029単位（対前年度比100.3%）を県内医療機関にお届けしました。

この需要に対応するため、県内6力所の献血ルームと10台の献血バスで延べ **239,409名**（同 100.3%）の皆さまに献血のご協力を頂きました。医療機関からの需要が高い400mL献血や成分献血を中心としたご協力と、献血ルーム等における予約献血の定着がより一層の安定供給につながりました。県・市町村、企業や献血協力団体、学校での献血実施により多くのご協力を頂き、医療機関に遅滞なく血液をお届けすることができました。

年齢別の献血状況は20代～40代が減少しています。安全な輸血用血液製剤を安定的に医療機関へお届けするため、これからの献血を支える若年層の方々をはじめ、引き続きより多くのご協力が必要となります。

輸血用血液製剤供給状況（過去3年間の状況）



令和7年度の輸血用血液製剤需要は、赤血球製剤は若干減少しましたが、血漿製剤・血小板製剤では引き続き増加しております。

献血状況と供給状況

献血状況				供給状況			
区分	令和7年度 目標数	実績数 (対計画比[%])	対前年度 実績増減数	区分	令和7年度 計画数	実績数 (対計画比[%])	対前年度 実績増減数
400mL献血	157,604	159,041 (100.9%)	56	赤血球製剤(400mL献血由来)	335,208	333,862 (99.6%)	▲ 1,610
200mL献血	3,810	5,929 (155.6%)	101	赤血球製剤(200mL献血由来)	4,792	5,209 (108.7%)	404
血漿成分献血	51,078	50,380 (98.6%)	680	血漿製剤	129,000	128,073 (99.3%)	382
血小板成分献血	24,811	24,059 (97.0%)	▲ 133	血小板製剤	400,000	399,885 (100.0%)	3,415
合計	237,303	239,409 (100.9%)	704	合計	869,000	867,029 (99.8%)	2,591

医療機関需要の高い400mL献血および血漿成分献血に多くのご協力をいただきました。

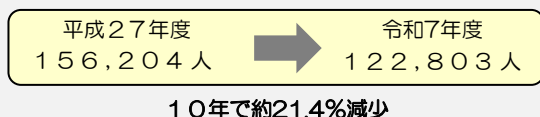
県内医療機関の需要に対し、不足することなく輸血用血液をお届けすることができました。なお、事前予約による献血へのご協力が輸血用血液の安定確保につながりました。

年代別献血状況

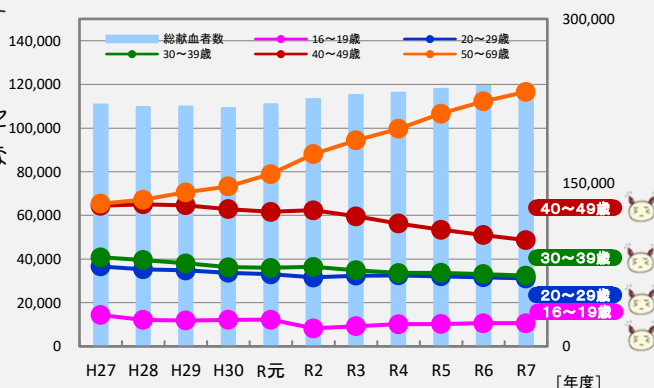
千葉県では、10代～40代の献血者数が10年前に比べて減少傾向にあります。

今後の献血基盤となる若年層を中心にご協力をお願いするため、大学・専門学校・高等学校等における献血実施、献血セミナーの開催、献血ルームにおける職場体験やキャンペーンなどを通じて、献血の普及啓発を行って参ります。

10代～40代の献血者数



年代別献血者数[人] 年代別献血者の推移(千葉県) 総献血者数[人]



令和8年度供給計画・献血目標

千葉県県の令和8年度の供給計画数は、近年の県内医療機関の輸血用血液製剤の需要動向、輸血用血液製剤の供給予測数及び血漿分画製剤の製造に必要な原料血漿の当血液センター確保制当量を基本として策定しました。

献血目標数は医療機関からの需要の高い400mL献血、高単位血小板成分献血(分割血小板)および分画製剤製造用血漿成分献血に重点を置いており、供給計画数 890,000 単位、献血目標数 237,474人 と決定しました。

令和8年度供給計画					令和8年度献血目標				
[単位]					[人]				
区 分	令和8年度 計 画 数	令和7年度 計 画 数	増 減	増 減 比(%)	区 分	令和8年度 目 標 数	令和7年度 目 標 数	増 減	増 減 比(%)
全 血 製 剤	0	0	0	-	400mL献血	157,321	157,604	▲ 283	99.8%
赤血球製剤	343,500	340,000	3,500	101.0%	200mL献血	3,729	3,810	▲ 81	97.9%
血 漿 製 剤	132,500	129,000	3,500	102.7%	血漿成分献血	51,916	51,078	838	101.6%
血小板製剤	414,000	400,000	14,000	103.5%	血小板成分献血	24,508	24,811	▲ 303	98.8%
合 計	890,000	869,000	21,000	102.4%	合 計	237,474	237,303	171	100.1%

医療機関需要動向から需要増加に伴い、令和8年度計画数も増加しています。

血漿成分献血については、免疫グロブリン製剤の需要増加により、千葉県内の目標数も増加しています。

献血の輪が広がりますように

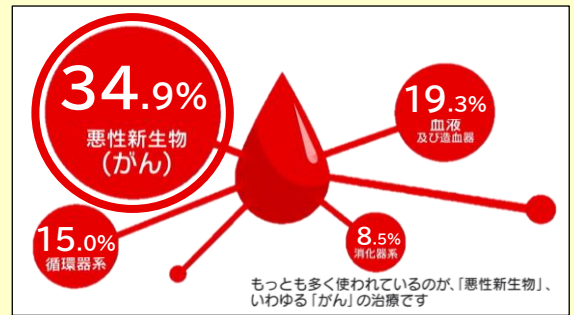
輸血用血液の多くは「がん」や「白血病」等の病気の患者さんの治療に使用しております。患者さんが安心して輸血医療を受けられるよう、より多くの皆さまのご協力をお願いいたします。

Q. いつも献血のお願いをしているのは、なぜ？

A. 病気の治療では、1度で数人分の血液を使用したり、定期的な輸血が行われることから、1人の患者さんを何人もの献血者で支えています。
一方、安全面を考慮し1人の方から短期間に何度も献血にご協力いただくことはできません。また、輸血用血液には有効期間(※)があり、長期保存が出来ないことから、継続的なご協力をお願いしています。

※ 輸血用血液製剤有効期間

【赤血球製剤】採血後28日間 【血小板製剤】採血後6日間



出典：東京都保健医療局(2024年)調べ

輸血治療を経験された方から寄せられたメッセージをご紹介します

ありがとう！

毎週輸血をするようになり約半年が経過しました。血液バッグを見るたびにお会いしたことのない献血をしてくれた方へ「ありがとう」と思いながら輸血治療を受けています。今回このように感謝の気持ちを伝えることができること嬉しく感じています。

「いつも本当にありがとうございます！」

千葉県内 女性

命を繋ぐ献血

僕は生まれて初めて少し大きな病気を患って、血液を自分でつくることができないといった理由で輸血が必要になりました。

輸血があったから、今まで命を繋いでこれたと思っています。本当にありがとうございます。

僕はもう献血はできないけれど、自分のできることを精一杯頑張ろうと思います。

千葉県内 男性

献血ルームのご案内



献血ルーム 受付時間
[成分献血]10:00~12:00/14:00~17:00
[400・200mL]10:00~13:00/14:00~17:30
[定休日]年末年始

運転免許センター 献血ルーム受付時間
[400・200mL]9:00~13:00/14:00~16:30 ※日曜日~16:10
[定休日]毎週土曜日、初日、年末年始
※運転免許センター献血ルーム(千葉市)では、成分献血の受入は行っておりません。

※運転免許センター献血ルーム(千葉市)では、成分献血の受入は行っておりません。